

ハート・オブ・カンボジア

カンボジアの中心に位置するトンレサップ湖。東南アジア最大の湖で、雨季と乾季で湖の面積が大きく変化し、ハート・オブ・カンボジアと呼ばれています。最大で琵琶湖の20倍にもなり、ボートで沖に出ると水平線が見えるぐらいの巨大な湖です。

湖の周辺では、たくさんの人々が漁業や農業を営んで住んでいます。また、水面にボート型の家を浮かべて生活する人々の姿もあります。学校や体育館の他、お店やレストランも浮かんでいて、見ていて飽きません。湖での人々の暮らしを見に、観光客も訪れます。

近年、湖で暮らす人々の人口増加や、周辺の都市からの排水の増加、気候変動やメコン川上流の国々のダム建設による、湖の水量の低下などの環境の悪化により、トンレサップ

湖で暮らす人々の生活が急速に困難になっています。SATREPSプロジェクトは、こうした途上国における地球規模の環境問題に取り組むためにJICAとJST(科学技術振興機構)が国際共同研究を推進するプログラムです。東京工業大学とITC(カンボジア

工科大学)が中心となり、湖や河川で水質調査や水文・水理モデルによる汚染状況の解析を行ってきました。

先日、カウンターパートであるITCの研究者と、プロジェクトで作成した環境啓発カレンダーをトンレサップ湖の人々に配布しに行きました。コロナ禍でも明るく元気に生活している人々の姿が印象的でした。2021年はプロジェクト最終年度として、これまでの研究成果を活かして、省庁を巻き込んだ活動を展開し、トンレサップ湖の環境改善に貢献していきたいと思います。



トンレサップ湖水上市村で見た朝日(2020年3月)



カンボジア環境省職員とITC研究者、東工大の先生とJST研究員の方と

山下 愛子 YAMASHITA Aiko

広島生まれ、広島育ち。南米エクアドルでJICA海外協力隊の環境教育隊員として活動した後、モザンビークにSATREPSプロジェクトの業務調整専門家として赴任。2018年8月からは、ITC(カンボジア工科大学)にSATREPSプロジェクト「トンレサップ湖における環境保全基盤の構築」の業務調整員として勤務。東京工業大学とITCの橋渡し役として、国際共同研究を推進中。(※SATREPS=地球規模課題対応国際科学技術協力)

プロジェクトHP:

<https://sites.google.com/site/satrepscambodia/home?authuser=0>
Facebook: Tonle Sap Water Environmental Platform で検索